

マナビコー英語教室

第1条 本利用規約の適用

本利用規約は、当教室がレッスンで提供する当サービスがオンラインであれ直接対面であれ、受講者とその保護者が利用する際のすべての行為に適用される。

第2条 レッソンの申込み

1. 受講者とその保護者は、当教室が定める手順に沿って当サービスの申込みを行うものとする。

受講者とその保護者は、申し込みの際に、下記の事項を読んだ上で、本利用規約に同意する必要がある。加えて、申込み希望者とその保護者が当サービス申込みを行った時点をもって同意したものとみなす。

(1) 受講者とその保護者は、本サービスの利用料金を当教室の指定する期日までに銀行振込にて支払うものとする。市販の教材購入を当教室が代行した場合は、受講者及びその保護者は実費を銀行振込にて支払うものとする。発送料については着払いとする。

(2) 受講者とその保護者は当教室より配信・通知された電子メールを受け取ることができる電子メールアドレスを準備すること。

(3) 当サービスの品質管理およびトラブル防止のため、当教室が受講者とその保護者のログイン履歴やログイン時に使用していた端末などの記録、レッスン内容など必要な情報を試聴・記録すること。

(4) 当教室が品質向上等を目的に、この問い合わせ内容等を記録、保管すること。

2. 本サービスの申し込みの書類は、受講申込書の提出に基づいて行うものとする。

3. 受講者とその保護者が下記に定める事由に当てはまる場合、当教室は本サービスの申し込みを拒否することができる。

(1) 申し込みを希望するクラスが定員に達している場合。

(2) 年齢、レベルがクラスに適合していない場合。

(3) 申し込みの際、受講申込書に虚偽、誤記または記入漏れをした場合。

(4) 過去に本利用規約に違反したことがある場合。

(5) 過去に当教室の提供するサービスにて料金の支払いを怠っていた場合。

(6) 当教室の推奨する受講推奨環境を満たしていない場合。

(7) その他、本サービスの利用者として不適当であると当教室が判断する場合。

4. 受講者とその保護者は申し込み手続き完了次第、本サービスの利用を開始できるものとする。

5. 当教室がレッスン用に通知したパスワード等ログインまたは本サービスの利用に必要な情報は、受講者とその保護者が厳重に管理しなければならない。

6. 受講者とその保護者は、パスワード等を忘れてしまった場合または第三者に不正に使用されていることが判明した場合、当教室に速やかに連絡をし、指示等に従わなければならない。加えて、受講者とその保護者は、同連絡が遅れたことにより生じるすべての損害等を賠償する義務を負うものとする。

第3条 入会・退会に関する手続き

1. 入会を希望する受講者は、当教室所定の期日までに入会金とレッスン料を納入するものとする。

2. 退会を希望する受講者は、その理由を休会又は退会をする月の前々月末日迄に当教室に連絡するものとする。なお、前々月末日までに連絡せずに休会又は退会する場合、休会又は退会が生じた月のレッスン料は納入するものとする。

第4条 停学・除籍に関する手続き

当教室は、下記に定めるいずれかの事項に当てはまる場合、受講者に対して停学又は除籍処分を課することができ得ることを、受講者とその保護者は前もって承諾するものとする。

1. 欠席・遅刻・早退の多い者

2. 受講時間以外の努力が見られぬ者

3. 講師の指示に従わぬ者

4. 素行不良にして改善の見られぬ者

5. 当教室やその講師に対し迷惑となる行為を行う者

第5条 学費

1. 受講者とその保護者が当教室に対して支払うレッスン料等は別に定める所定の方法によるものとする。

2. 受講者とその保護者より当教室に対して一旦支払われたレッスン料等は、返金できないものとする。

3. 月謝であるレッスン料については、月末までに翌月の分を前払いで支払うものとする。

4. 月謝であるレッスン料については、講師の都合により休講となった場合であっても、追加レッスン又は振替レッスンを実施した場合においては通常通り、受講者とその保護者は当教室に対して納入するものとする。

第6条 登録情報の変更

受講者とその保護者は、氏名、住所、メールアドレス等申し込み時に登録した情報に変更の必要が生じた場合は速やかにその内容を当教室へ申し出なければならない。なお、当教室は、受講者とその保護者が同変更手続きを遅らせたことにより損害等を被った場合でも、同損害に対して一切責任を負わないものとする。

第7条 レッスン回数または補習や追加レッスン

1. 受講生と保護者との面談を経て曜日と時間を固定し、同意された回数に基づいてレッスンをを行うものとする。
2. 補習や追加レッスンについては、当教室が受講者とその保護者と当教室が定める料金等を話し合いの上で行うものとする。

第8条 レッスン

1. レッスは1コマ90分または60分とする。
2. 受講者と保護者の使用する機器、ネットワーク不良が原因でレッスンに参加できない場合については、当教室は振替で対応し、受講者と当教室で日程調整が合わず振替が出来ない場合については、当教室は、受講者がレッスンを受講したものとみなす。
3. 当教室は、事前連絡なくレッスンの開始 10 分を経過してもレッスンの受講者が出席していない場合、そのレッスンを終了することができ、レッスンを実施したものとみなす。事前連絡の上、遅れてレッスンが開始されても、レッスンは通常の終了時間までとする。
4. 当教室の理由によって予定されているレッスンができない場合または遅れる場合については、当教室が事前に受講者またはその保護者に事前に連絡し、連絡しても連絡がつかない場合においても 第9条の通りとする。
5. 当教室及び受講者ともに、レッスン中は本人画像を動画で提供するものとする。
6. 当教室はレッスン内容を受講者と保護者にもって通知することなく変更できるものとする。例えば、受講生の理解度に不安がある場合、必要な復習や解説指導等を行う。
7. レッスン中に発生した事故に関しては理由の如何を問わず、当教室は受講者とその保護者に対して責任を負わないものとする。火災・地震・風水害・感染症の流行その他の不可抗力により、レッスンの実施が困難であると当教室が判断した場合は休講とする場合があることを受講者とその保護者は了承するものとする。
なお、当該不可抗力により実施できなかったレッスンについては、後日に振り替えて行えるものとする。

第9条 振替

1. レッスの振替については、以下に定める 2. 及び 3. の通りとする。定めのない事由が発生した場合には、当教室と受講者及びその保護者との協議の上、その都度決定するものとする。
2. 当教室の都合（講師の体調不良や講師が使用する機器・ネットワーク不良の場合を含む。）でレッスンが実施できない場合は、原則振替 **レッスン** を提供するものとする。
3. 当教室の都合（講師の体調不良や講師が使用する機器・ネットワーク不良の場合を含む。）でありながら、振替レッスンが実施できず、レッスンの継続が困難であると当教室が判断した場合には、受講者とその保護者に対して返金を行うものとする。

第10条 休日

当教室が受講者とその保護者に対して提供するレッスンの休日については、以下の通り設定するものとする。

- ①夏季休暇
- ②冬季休暇
- ③その他

具体的な日程、及び上記の①～③に設定する休日については、別途当教室から受講者とその保護者に対して事前に連絡するものとする。

第11条 受講推奨環境

1. 当サービスは、インターネットを通じて提供される為、受講推奨環境を整えておくこと。
2. 利用する端末にインストールされている他のアプリケーションや、プラグイン等に起因する問題でレッスンに要するシステムの利用に支障が出た場合、当教室は問い合わせ対応や補償等の一切の義務を負わないものとする。

第12条 禁止事項

1. 受講者とその保護者は、当サービスの利用に際して、以下に定める行為を行ってはならない。
 - (1) 当サービスを利用する権利を第三者に譲渡、貸与、売買、名義変更、質権の設定、担保に供する行為。
 - (2) パスワード等を第三者に譲渡、貸与等する行為または第三者に使用させる行為。
 - (3) 当教室や講師及びそのスタッフ等の名義、信用、著作権、特許権、実業新案権、意匠権、商標権、講師及びそのスタッフ等のプライバシーや肖像権を侵害する行為や、講師及びそのスタッフ等への嫌がらせや、暴言、脅迫、誹謗中傷等レッスンの進行を妨げる一切の行為。
 - (4) 違法行為、社会の一般的秩序や一般的道徳観念に反する行為。
 - (5) 当教室のサーバーに無権限・無許可でアクセスし、その利用もしくは運営に支障をきたす行為。
 - (6) レッスン中の食事など、当サービスの運用を妨げる一切の行為や、サービスに集中できる環境以外で利用する行為。
 - (7) 当サービスを営利目的やその準備に利用する行為。
 - (8) 当サービスの他の利用者や講師及びそのスタッフに違法行為を勧誘または助長する行為。
 - (9) 当サービスの他の利用者や講師及びそのスタッフが経済的・精神的損害、その他不利益を被る行為。
 - (10) 当サービス利用中知り得た他の利用者の個人情報や発信する行為、肖像権やプライバシーを侵害する行為。
 - (11) 犯罪行為や犯罪行為に結びつく行為。
 - (12) 当教室の一般的に開示していない機密情報を検索する行為。
 - (13) 講師及びそのスタッフ等に対して宗教、政治結社、マルチ商法等の勧誘をする行為。
 - (14) 電子メールの送受信を含め、オンライン・オフラインを問わず、本人またはその代理人が当サービス以外で講師と個人的に接触しようとする行為。

(15) 1つのアカウントを複数のユーザで利用する行為。

(16) 1人のユーザが複数のアカウントを登録する行為。

(17) レッソンの動画や静止画を SNS で発信する行為。

(18) その他、当教室が不適当と判断する行為。

2. 受講者とその保護者は、前項に違反する行為に起因して当教室または第三者に損害が生じた場合、当サービスの継続停止・退会後であっても、すべての法的責任を負うものとする。

第13条 サービスの利用停止、登録情報の抹消等

1. 当教室は、受講者とその保護者が先のいずれかに該当した場合、受講者とその保護者へ事前の通知をすることなしに、当サービスの利用停止、登録情報の抹消等、当社が適当と判断する措置を講ずることができるものとする。

(1) 受講者とその保護者が第4条及び第20条に定める禁止行為を行った場合。

(2) 受講者とその保護者が当利用規約の各規定に違反した場合。

(3) その他の事由で当教室が受講者とその保護者による当サービスの利用を不適切と判断した場合。

2. 受講者とその保護者が前項に基づき当教室から処分を受けた場合、当教室は受講者とその保護者が既に支払ったレッスン料、教材費等の返金を一切行わないものとする。

第14条 電子メールによる通知

1. 受講者とその保護者は、指定メールアドレスに関する各種設定等を変更し、当教室からの電子メールの受信を許可しなければならない。当教室は、本サービスに関する重要な情報を送信する場合、受講者とその保護者が当教室からのメール通知等の受信を全て拒否する設定をした場合、または指定メールアドレスに不備、誤記があったことまたは受講者及びその保護者が受信設定の変更を怠ったことに起因して当教室からの電子メールが受講者とその保護者のもとに届かなかった場合でも、電子メールを送信したものとし、その不到着に対して、一切責任を負わないものとする。なお、本利用規約の変更に関する取り扱いは、第21条に定めるとおりとする。

2. 当教室は、受講者とその保護者に対して電子メールによる広告やアンケート、受講促進等を行うことができるものとする。

第15条 登録情報の取り扱い

1. 当教室は、受講者とその保護者の登録情報を当サービスの提供、当サービスに関連するご案内を目的として使用するものとする。

2. 当教室は、受講者とその保護者の登録情報を受講者及びその保護者の事前の承諾なく第三者に開示しないものとする。ただし、以下に該当する場合は、この限りではない。

(a) 法令等に基づき開示を求められた場合。

(b) 公的機関より開示を求められた場合。

(c) 生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、受講者及び保護者の同意を得ることが困難である場合。

第16条 当サービスの中断・終了

当教室は、事前に専用サイト上での掲示または受講者とその保護者への電子メールの送信により通知をすることで当サービスを中断または終了できるものとする。また、サーバーやアプリケーションの障害、国内外の政治情勢・台風や地震、豪雨、落雷などの自然災害、新型コロナウイルス等感染症の流行、火事や暴動・紛争などの人為的災害、停電などの影響や提供するサーバー等の障害、またはその他やむを得ない事由により当サービスの提供が困難な場合、予告なしに当サービスを中断することができる。

第17条 損害賠償責任

1. 受講者とその保護者が本利用規約に違反したまたは不正行為により当教室に対し損害を与えた場合、当教室は受講者及びその保護者に対して、同違反または不正行為により生じた損害の賠償請求ができるものとする。

2. 当教室が本利用規約に基づくサービスを提供する中で受講者とその保護者に対して損害をもたらした場合、受講者または保護者に対する損害賠償、名譽回復措置等を含むがこれらに限定されない)をとることができるものとする。

第18条 著作権等の知的財産権

1. 当教室が受講者とその保護者に提供するレッスン、画像、音声、教材等に関する著作権、その他知的財産権は、当教室または権利者に帰属する。また当サービスに関する商標、ロゴマーク、記載等についての著作権、その他知的財産権については全て当教室に帰属する。

2. 提供するレッスン、画像、音声、教材等は、当教室の指定する方法でのみ利用が可能なものとする。

3. 教材等の複製物を第三者に販売、贈与及び貸与することは、方法・理由の如何を問わず一切できない。

4. 当教室は、受講者とその保護者が本条各項に違反した場合、受講者とその保護者に対して法的措置(警告、刑事告訴、損害賠償請求、使用差止請求、名譽回復措置等を含むがこれらに限定されない)をとることができるものとする。

第19条 免責事項

下記の各条項に定める事項に起因して、受講者とその保護者が当サービスの満足な利用ができなかった場合については、当教室がいかなる保証も行わないことに事前に同意したものとみなします。

1. 受講者とその保護者のメッセージやデータへの不正アクセスや不正な改変、その他第三者による行為に起因する場合。

2. ウェブブラウザ、SkypeやZoomの提供するアプリケーションの不具合、トラブル等により当サービスが利用できなかった場合や損害が発生した場合。

3. メールとマイクに対するアクセス申請を受講者とその保護者が拒否した場合。

4. 当教室がシステムの保守を定期的、または緊急で行う場合。

5. 受講者とその保護者の自己責任で受信し開いたファイル等が原因となりウイルス感染などの障害が発生した場合。
6. 受講者とその保護者の過失によりパスワード等の紛失または使用不能により当サービスが利用できなかった場合。
7. 当教室で提供する全ての情報、インターネット上での完全性、正確性、最新性、安全性等。
8. 当ウェブから、または当ウェブへリンクしている当社以外の第三者が運営するウェブサイトの内容やその利用等。
9. 決済方法に伴うトラブルや不具合。
10. その他当教室の責任によらない事由で当サービスの提供が困難な場合。

第20条 当サービスの日時表示

当サービス及び本利用規約の表記上において、レッスン申し込み日、受講開始日、利用料金、支払いの期日、申請等の締め切り日等の日時は、全て日本時間(GMT + 9:00)によるものとする。

第21条 利用規約の変更

1. 当教室は、本利用規約を変更することができるものとする。本利用規約を変更した場合には、受講者とその保護者に本利用規約の変更内容を電子メールにて通知するものとし、当該変更内容の通知後、受講者とその保護者が本利用規約第3条に定める休会・退会の手続きをせず当サービスを継続利用した場合、受講者及びその保護者は変更後の利用規約に同意したものとみなす。
2. 強行法規の改正等により、本利用規約の一部が同法規に抵触する場合には、当該部分を同法規の定めに従い変更したものとする。

第22条 準拠法及び専属的合意管轄裁判所

1. 本利用規約は、日本国法に準拠して解釈されるものとする。また、当サービスに関連して、当教室と受講者及びその保護者とのあいだで紛争が生じた場合、または本利用規約に定めのない事項について紛争が生じた場合には、当教室と受講者及びその保護者が共に誠意を持って協議するものとする。
2. 前項による協議をしても解決しない場合、訴訟に応じて当教室を運営する事業所の所在地を管轄する地方裁判所または当教室を運営する事業所の所在地を管轄する簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

※本利用規約は2023年2月13日時点の内容です。今後改訂になる場合があります。

【お問い合わせ先】

マナビコー英語教室

TEL: 080-3372-6514 (平日 10:00~18:00 土日祝・お盆・年末年始除く)